

発熱で受診時  
事前に電話を

★発熱で受診する時は  
必ず事前に  
電話して下さい

## 美山診療所ニュース

第167号 発行日 2021 (R3) 年1月23日

発行者：美山診療所 電話 75-1113

<http://miyama-clinic.net/>

601-0722 京都府南丹市美山町安掛下8番地

# 新年あけまして おめでとうございます

明けましておめでとうございます。

患者様、地域住民の皆様には穏やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

新しく年が明けるとともに新型コロナウイルス感染症患者が増え続け、1月13日には11都道府県に緊急事態宣言が出されました。当院においても感染予防に対して徹底した意識を持って対応していただいていたのですが、引き続き警戒心と緊張感を持って臨んでいただきたいと思います。これまで国の対策としてクラスター追跡に終始してきましたが、その限界が来ています。今となっては追跡に何の意味もなさない気がします。唯一の頼みはワクチンの接種の開始が感染を抑える手立てと考えます。ワクチンの副反応に対し、国の責任をはっきり示した上で、接種希望者にはできるだけ早く打てるようにして頂きたいと思えます。

さて、当院の市直営問題ですが、住民の皆様には住民集会、署名活動等、大変お世話になり深く感謝しています。ありがとうございました。

ようやく引き継ぎが始まりましたが、行政から新しい診療所の具体的な業務内容は未だ説明されていません。公表された新しい診療所の募集人員を考えると、現在の業務規模との乖離が大きく到底無理ではないかと、不安になります。私の要望を受けて頂き病床は残すこととなりましたが、「1泊2日程度の入院しか考えていないから、看護師は1人で良い」などと現場で説明されているとの報告を受け、大変驚いています。退職を余儀なくされる職員の雇用確保も大きな課題です。

美山地域住民のいのちと健康を守る事業を引き継ぐ強い使命感を持って、引き継ぎ作業を進めていただきたいと思います。私に相談なく勝手に話が進められることのないように願っています。何より、住民への説明もまだ行われていません。

住民の皆さんも職員も安心、納得できるように、早期の説明会開催を期待しています。

患者様には不平、不満、不安が出ないように、市と協力して引き継ぎを進める所存です。

2021年 正月

医療法人財団美山健康会  
理事長 中村 真人



## (仮) 美山コミュニティ包括ケアセンター (国保直営診療所) どんな診療所になる？

昨年末、美山町の全戸に配布された「美山コミュニティ包括ケアシステム」(美山地域医療対策委員会作成)で、「美山版地域包括ケアシステム構想の概要」として、「美山地域の特性」(コミュニティ機能を発揮できる体制)を活かして、乳幼児から高齢者まで全ての住民を対象に健康、福祉、医療、介護を一体的に進めていこうとするもの」として位置づけられ、その「中核となる期間として、(仮)美山コミュニティ包括ケアセンターの早期設置とセンター内に次年度開設予定の国保直営診療所が設置されることを願っています」とあります。4月から稼働する新しい「市立国保みやま診療所」に、強い関心と期待が集まっています。

### 説明で判ったことは・・・

4月開設まで3ヶ月を切りました。市立診療所が行う事業の全体像は、残念ながら未だ判りません。新しい診療所はどんな機能を持ち活動するのか？

12月議会迄は「条例が成立するまでは公表できない」とのことでしたが、成立後年末に職員と法人理事会が受けた説明は「職員採用は20人程度」「常勤採用するのは事務と看護師と作業療法士・理学療法士」「介護職員、ケアマネ(介護支援専門員)、薬剤師は雇わない」「調剤はしない(院外処方箋)」「職員採用方法は市の広報に載せる」等です。

要は、診療所の体制を縮小すること、現在の職員は全員退職し、継続雇用を希望しても必ずしも採用される保証は無く、大半は失業すること、失業者については健康会が行う雇用斡旋に市が協力することなどが説明されました。(現在職員は常勤者32名と非常勤者を常勤換算で17名)

伝わってきた？計画？

新しい診療所つくりのため、新年から南丹市による診療所現場役責者への聞き取り調査が始まりました。

市の聞き取りから伝わる新しい診療所の機能は、今の診療所とは随分変わりそうです。採用職員数に合わせた業務量になり「美山コミュニティ包括ケアシステム」の構想とは、ズレるように思います。

住民の願い実る新診療所に！

いよいよ4月には美山の地域医療の歴史に新しいページが開かれます。南丹市と住民が協力して、南丹市直営による新しい国保みやま診療所が、「美山地域の特性」を活かして、乳幼児から高齢者まで全ての住民を対象に健康、福祉、医療、介護を一体的に進めていく拠点となるようにするため、皆様のお知恵とお力が必要な時ではないでしょうか。

そのためにも、美山町住民と診療所職員への南丹市の具体的計画提示が待たれています。残された時間は僅かです。 (文責：事務長 原)



「美山まちづくり かわら版 12月号」より

(仮)美山コミュニティ包括ケアセンター(国保直営診療所)

医療、保健(健康づくり)、介護、福祉サービスまでを総合的、一体的に提供できる活動の拠点

主な役割

- 美山コミュニティ包括ケアシステムの核となる情報、データの一括管理
- 治療、処置(在宅含む)
- 市民健診
- 健康づくり、食生活指導
- 生活習慣病予防の指導、助言
- 福祉サービスへの指導、助言
- 介護サービスへの指導、助言
- 生活支援、介護予防への指導、助言
- 保健、医療行政施策の立案



主な役割を達成するための国保直営診療所の体制とは

- 治療、処置面で入院・外来と訪問医療が可能な医師体制
- 介護、福祉サービスが他の機関で対応できない医療分野におけるサービス提供体制(通所リハビリ、老人保健施設、訪問看護等)
- 時間外、緊急時における対応及び看取りなどの体制
- 介護、障害者施設への往診体制
- 乳幼児予防接種実施体制
- 小中学校児童、生徒健診体制
- 他の医療機関への転院時での移送体制
- 医師と行政関係職員による総合指導・指示する体制

